

〔日本書紀天智二十七〕十年十二月乙丑、天皇崩于近江宮。癸酉殯于新宮。于時童謡曰、美曳之弩能、曳之弩能阿喻、阿喻舉曾播、施麻倍母曳岐、愛俱流之衛。奈疑能母膝、制利能母膝。

〔萬葉集十六〕 有由縫
〔ヒシホスヘヒルツキカタ〕 雜歌
〔ミセソナギ〕 詠酢醬
〔スミコロウ〕 蒜鯛水葱歌
〔スミコロウ〕 醉爾都伎合
〔テタモガワレニナミセソナギ〕 而鯛願吾爾勿所見
〔アツモゼ〕 水葱乃煮物

〔萬葉集三〕
警 喻 歌 大伴宿禰駿河麻呂、姥同坂上家之二娘歌二首
春 霞 春 日 野 爾 ○ 爾 恐 殖 子 水 葱 苗 有 跡 云 師 柄 者 指 爾 家 牟、

〔萬葉集十四〕相聞歌
可美都氣努伊可保乃奴麻爾宇惠古奈宜可久古非牟等夜多禰物得米家武

右二十二首一○二十一上野國歌

奈波之呂乃吉奈伎我波奈乎伎奴爾須里奈流留麻爾末仁安是可加奈惠家

露むすぶ田中の井どのなぎの葉に光さしそふ夕づくひ哉

〔催馬樂〕 吕田中、井戸一 段、拍子十、藤家五、拍子用之

たなかのわどにひかれるたなきくめくあこめ田中のこゑこめわどひからだかのこゑ

爲家